

手 私 事

TAKEFREE

0 1

○この冊子に使用している写真は著作権法上、無断転載・使用を禁じられています。

野菜の王国

PROSOL

SHOP LIST

広島県内に7店舗展開。お気軽にご来店ください。

PROSOL 山本店	広島市安佐南区山本1-8-19	TEL.082-874-9900
PROSOL 五日市店	広島市佐伯区五日市駅前2-18-1	TEL.0120-39-6797
PROSOL 大町店	広島市安佐南区大町西1-4-38	TEL.082-831-5205
PROSOL 紙屋町店	広島市中区大手町1-4-4ヌキナビル2F	TEL.082-545-5662
PROSOL 宇品店	広島市南区宇品御幸3-2-6	TEL.082-254-2345
PROSOL COCORO店	広島市安佐南区伴南1-5-18-8西風新都ゆめビル102	TEL.082-848-5020

PROSOL 廿日市店 近日オープン!

WEB SITE

最新のヘアスタイルから、情報満載のブログまで。トピックス満載のプロッソルWEB SITEを、ぜひご覧ください。

<http://www.prosol.co.jp>



野菜の王国

はじめに

土を耕し、種をまき、水を与えるように、
スタッフひとりひとりの技術力や創造力を育んでいく。
ーひとを、育む。ー

その想いはいつも、わたしたちプロッソルとともにありました。
それはすべて、じつくりと時間をかけて
育てていくことでしか得られない

「実り」がその先にあると、信じているからです。

創業から25年。わたしたちが育んできた時間はいま、

「お客様との絆」となって実を結んでいます。

本誌『手私事』では、そんなわたしたちの信念と共鳴する

2人のプロフェッショナルにご登場いただきました。

農家・高本光之氏、そして歌人・枡野浩一氏。

両氏から紡ぎだされるメッセーじの数々を、

どうぞご覧ください。

野菜の王国

高本農園 園主 高本 光之

手

野菜本来のおいしさを引き出す。

野菜と美容の密接な関係は、一般的にも良く知られている。最近では、積極的に野菜を食生活に摂り入れながらカラダの内側から美しくなる「ベジフルビューティ」という言葉も生まれ、その流れは一層加速するものとなってきた。そんな食への意識、野菜への関心が高まる現在、注目を集める一軒の農家がある。野菜の王国・高本農園。大粒に実るだちや豆や、生でも調理してもおいしい新ルッコラ、農薬をほとんど使わず時間と手間をかけて育てられるフルツトマト…。愛情豊かに育まれる野菜たちは、園主・高本さんが品種と栽培時期、そして栽培方法にこだわり、野菜が持つ本来の旨さを極限にまで引き出したものばかり。それらの野菜は、そのおいしさゆえに「あくまにとりつかれた

ように食べてしまおう」と称されるほど。代表作でもあるフルツトマトのネーミング「あくまのトマト」はここに由来する。「本当においしいトマトを知ってほしい」と高本さんは語る。「目安は、色。ピンク色の皮に銀色の斑点があるものは、味の悪いものです。〃効率〃を優先し、早く大きく育てるために水分を多く与えた結果、土壌のカルシウムを過剰に摂取し、斑点として浮き出てしまっているのです。これは言わば〃メタボのトマト〃。おいしいトマトは収穫時にオレンジ色、時間が経つと赤黒くなります。」高本さんが育てたトマトの中でも、特に質の良いものはスライスした断面に、牛肉のように「サシ」が入るという。そんな野菜たちは多くの人を魅了し、いまや一流の料理人にも多くのファンを持つ。

目的をもって、育まれる野菜たち。

高本さんが育む野菜が他の多くの野菜と違う点は、〃目的を持っていること〃かもしれない。例えば料理人から「空豆が欲しい」というオーダーが入れば、まず「どんな料理に使われるのか」を聞く。スープに使いたいということであれば、収穫時期を通常よりも少し遅らせる。本来、空豆は収穫時期を遅らせることで、甘みが増すが、一方で実が固くなる野菜。しかし、煮ることで食感を調整できるスープであれば、実の固さは問題ではないからだ。だからこそ、甘みを最大限に引き出したタイミングで収穫を行う。スーパーなどに並ぶ野菜は、生産効率を重視した「大量生産」によるものが多いが、高本さんの野菜はひとつひとつの〃目的〃に応えた「オーダーメイド」なのだ。このように高本さんは、常に食材を扱



○高本さんの野菜が味わえるお店
[広島市中区]・リーガロイヤルホテル
広島・広島アンデルセン・虎之介・ホル
モン焼肉 ふち・幸・松本家次男 など
※時季によっては、入荷されていない場合があります。

うひとの声に耳を傾ける。「ひとりでできることなんて、限られている。信頼のおける人とのつながりを築くことも、おいしい野菜を育てるには欠かせないこと。」そして「いいものは、大量にできるものではない。手間と時間をかけ、じっくりと根気よく育むことで、本物の旨さが生まれてくる。」そんな高本さんの言葉ひとつひとつには「育むプロフェッショナル」としての信念が刻まれている。野菜の王国・高本農園。それはまた、野菜本来のおいしさをわたしたちに教えてくれる野菜の教室なのかもしれない。

育むプロッソル



スタイルを、育む。

まったく別々の世界にあるものが、ひとつの点で結ばれることがある。プロッソルこころ店スタイリスト 園部太志にとつての「ヘアメイク」と「アクセサリー」もまた、そのひとつなのかもしれない。プロのジュエリーデザイナーとして働く友人の影響で、アクセサリーづくりをはじめたのは約3年前のこと。はじめは雑誌の中から気に入ったものをピックアップし、それを手本に再現することからスタート。技術が身につくにつれ、徐々に自分の中に芽生えた新たなデザインイメージをカタチにしていって。「頭の中にあるイメージを具現化していく」この点において、「ヘアメイク」と「アクセサリーづくり」は非常に似ているのだという。カタチのない「イメージ」から、立体物としての「プロダクト」へ。「想像」から「創造」へ。素材、質感、大きさ、バランス、調和……。あらゆる視点を持って、ひとつの作品を生み出し、身につけるひとのスタイルを形作っていく。つまり、「ヘアメイク」と「アクセサリー」は「その人のスタイルを育む」という点において強くつながっている。

美しさの、理由を探る。

そんなアクセサリーづくりはまた、園部自身の意識も大きく変えている。「キレイなもの、ステキだと思えるものに出会えたとき、なぜ、それがキレイなのか、ステキなのか」まで考えるようになった。「美しいものを美しいものとしてとらえて終わるのではなく、その美しさがどこから来ているのかを考える。この「美を追求する姿勢」はトータルビューティを掲げるプロッソルのスタッフとしては欠かせないもの。もちろん、「ヘアメイク」と「アクセサリー」には異なる点も存在する。そのひとつとして、「アクセサリーづくり」においては、自分の良いと思うものをもっと追求すれば良いが、「ヘアメイク」においては

お客様のめざ

しているものを再現

できなければならないとい

う使命がある。このために、園部

は何よりコミュニケーションを大切にす

る。お客様の求めているスタイルはどのような

ものなのか。それを、ささいな言葉、何気ないしぐさ、顔

の表情や、洋服の色合いなどから感じ取っていく。「100人

100通りあるお客様のスタイルの中で、いかにベストなものをご提

案できるか。」それが、これからの課題だという。一見、異分野に見える

「アクセサリー」と「ヘアメイク」。しかし、園部の言葉を聞いていると、あることに

気づかされる。「髪もまた、ひとを彩る、ひとつのアクセサリーなのかもしれない」と。

育むプロッソル

ほうき星を、さがして。

沖本 直夏／五日市店 アシスタント

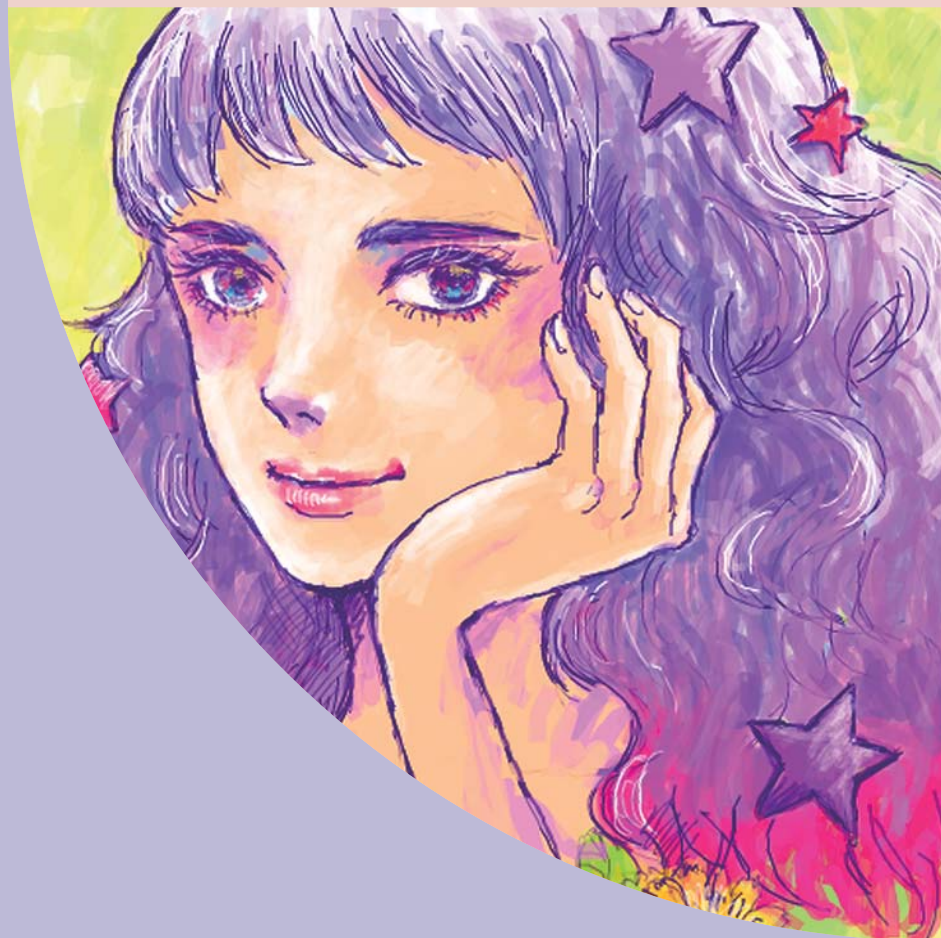


音楽の世界から、
ヘアメイクの世界へ。

人生の分岐点は、意外なところに転がっている。プロッソル五日市店アシスタント 沖本直夏にとっては、「ある曲」との出会いがひとつの大きなターニングポイントとなった。人気バンド「BUMP OF CHICKEN」(バンブオブチキン)の通算3枚目のシングル『天体観測』。日本中で大ヒットした本曲は、沖本のころも魅了した。彼らの楽曲に「こころを掴まれた沖本は、いつしか雑誌などでも4人の姿を探すようになる。そんなある日。彼らを集めた記事の中に小さく記載されていたスタッフリストに目が止まる。その中に名を連ねていた、ひとりのヘアメイクアーティスト。沖本の目は、「BUMP OF CHICKEN」のスタイルを育む彼女の姿を、いつしか追いかけるようになり、やがて「同じ世界で働きたい」という想いを抱くようになった。音楽の世界から、ヘアメイクの世界へ。沖本の人生は、ひとつの音楽、ひとつのバンドとの出会いを経て、ゆつくりと、しかし確実に動き始めた。

コミュニケーションを育む。

そんな沖本が、幼少のころから続けてきたことがある。それは、「絵を描くこと」。これまでも、様々なコンテストで何度か入賞も果たしている。この「描く力」は、現在の美容というフィールドにおいても、ひとつの大切な役割を担っている。美容業界ではクリエイションと呼ばれる作品作りが行われるが、このとき複数名のスタッフによりひとつの作品が仕上げられる。沖本は、自分の中にあるヘアデザイナーのイメージを他のスタッフに伝えるとき、筆をとり、頭の中に描いている完成像を紙へと写しかえていく。きつと自分の想いを伝えるとき、彼女にとつての絵は、言葉よりも忠実に自分の気持ちを表現できるコミュニケーションのひとつなのだろう。そうして、絵を描くことで育まれるスタッフ間のコミュニケーションは濃度を増し、やがて作品自体の精度を高めていく。そんなクリエイションを重ねた先に待っているのは、スタイリストとしてのデビューの日だ。「いつの日か、お客様の様々なご要望にお応えできる、マルチプレイヤーになりたい。」と沖本は語る。「BUMP OF CHICKEN」のヒット曲『天体観測』には、こんな一節がある。「始めようか天体観測
ほうき星をさがして」沖本が見つめつづけてきたほうき星はいまなお、ヘアメイクの世界でひかり輝いている。



読



む

短歌と文

枅野浩一

illustrator comaki.



わたくしのパロディとして在る子供
いつか会うとき笑えたらいい

ずっと片思いしている女性が昔くれた多肉植物の鉢植え。水もやらずに日陰の窓辺に放置していたのに十年近く青々としている。ふと気まぐれで水をやってみたら新芽が次々と出てきたので、株分けした。新しい器に植えていそいと水をやっていたら、いくつか小さな株がしおれてしまった。インターネットで調べてみたら、水を切らすことにはとても強い植物で、逆に水をやりすぎると根腐れをおこすから注意するようにと書いてあった。

小学生のとき朝顔を種から育てるという授業があり、ひとり一鉢ずつ世話をしていた。からだを動かすことが苦手で休み時間に野球をやったりすることもなかった私は、ひまさえあれば鉢を見に行つて水をやったり、肥料になるのではないかと想像して枯葉を鉢にいれたりしていた。大輪の花が咲いたのは休み時間に野球をやっていた男子たちの朝顔だった。私のは枯れたりもしなかったものの、結局ついに花を咲かせることはなかった。もともとこの種がだめだったのかもしれないと思う。いずれにしても自分の子供時代を象徴するような出来事で、夏になるたびに思い出す。

この夏、離婚届に判を押して十年になる。中学二年生になっているはずの息子とも、十年近く会っていない計算になる。私が望んで会わないようにしているわけではないけれど、こまめに会えていたら朝顔や多肉植物のようにだめにしていたのではないかと考えることで、会えない事実を納得しようとしてしまう。

父と母はまだ離婚をしていない。父は理系の研究職サラリーマンだったけれど、私は歌人などという信じられない肩書で仕事をしている。もしも父親が不在だったら別の人生を歩んでいただろうか。そうはとも思えない。

別の条件だったらどうなっていたか、二つの鉢を用意して比較実験できる人生はない。答え合わせできない、それは救いなのかもしれないと思うことがある。多肉植物は、水を切らし気味にして、ほどよい日陰に放置中だ。



ますのこういち

枅野 浩一

1968年生まれ。短歌集、小説、エッセイ、詩集など著作多数。高校国語教科書(明治書院)に短歌が掲載されている。お笑い芸人としても活動中。「枅野書店」店主。



1



2

PRO

プロツルのスタッフが、自らの持つ技術力を競い合う「PRO1」の開催が決定。本コンテストでは、日頃サロンでお客様にご提供している「サロンスタイル」のヘアメイクではなく、美容師各々の感性や創造力によって生み出される「クリエイション」と呼ばれる作品で審査。プロの評価に、お客様からの人気投票を加え、グラブプリが決まります。今回、開催に至った背景には大きくふたつの理由があります。ひとつめは、スタッフひとりひとりが、美容師として欠かせない技術力・コーディネート力を育むこと。そして、何より大切なのは、そんなクリエイションを重ねることで育まれるスキルを活かし、お客様へのサービスへと還元していくこと。技術を磨き、新たなスタイルの提案へ。2014年発行予定の次号『手私事』では、初代グラブプリを発表します。どうぞ、お見逃しなく。

PREVIEW



3

HAIR & MAKE

- 1.PROSOL 大町店 スタイリスト 長岡 優衣
- 2.PROSOL 紙屋町店 アシスタント 宮内 弘樹
- 3.PROSOL 紙屋町店 アシスタント 小田 桃子
- 4.PROSOL 宇品店 スタイリスト 杉政 有祐美



4

日本の髪を、美しく。

たとえば、夏の湿気によるうねりや、冬の乾燥によるパサつきなど…。
季節ごとに表情を変える日本の気候は、ときに髪のトラブルの原因となることがある。
そんな気候によるダメージの他にも、年齢とともに変化する髪質や、
ヘアカラー・パーマによるダメージなど、髪の悩みはひとそれぞれ違うもの。

そこでおすすめしたいのが、多彩な商品ラインナップで、
ひとりひとりの髪のトラブルを解決してくれる「オー ज्या」シリーズ。
まずは、プロツソルスタッフがあなたの髪をカウンセリングし、髪の状態を診断。
エイジングケア、ヘアケア、スカルプケア、クライマティックケアという
大きく4つの目的に分かれた「オー ज्या」シリーズの中から、
あなたの髪に合ったベストな商品をご提案。
サロンでのケアからご自宅でのホームケアアドバイスまで
あなただけのヘアケアプログラムを作成してくれる。

そんな「オー ज्या」シリーズの大きな特徴としては、全シリーズに配合されている
「アミノスプリング」という成分がある。この「アミノスプリング」は、
電子顕微鏡では見えない毛髪深部「 α -ヘリックス」を補修してくれるもの。
欧米人と比べ、日本人の髪はこの「 α -ヘリックス」が傷みやすく、
本来持っているしなやかで弾力のある髪を失ってしまう原因となってきた。
その原因を突き止めて開発された「オー ज्या」シリーズは、
まさに繊細な日本人の髪にマッチしたヘアケア商品だと言えるだろう。
さあ、今すぐあなたも「オー ज्या」シリーズで弾むような美しい髪を、手に入れよう。

A u j u a



「オー ज्या」シリーズについて、詳しくはこちらをご覧ください。 <http://www.auja.com/product/>

PRO SOL

プロツソルがコーポレートロゴを一新。
燦々と降り注ぐ太陽の光を浴びて、すすくと育っていく。スペイン語の「PROSPERAR（発展）」と「SOL（太陽）」を掛け合わせて生まれた「PRO SOL」という名前には、そんな想いが込められています。そんなプロツソルも誕生から約15年。これまで多くのお客様に支えられながら、ここまで少しずつ成長し続けることができました。そこでこの度、わたしたちはひとつの節目を迎え、コーポレートロゴを一新いたします。スタッフもお店も少し“大人”になったことで、これまでの「温かく、フレンドリー」なものから、少し「大人」なコーポレートロゴへ。鳥居の赤をイメージした朱色は「大人な女性の美への熱い探求心」を表現し、水引きのラインには「人と人とのつながりを大切に」という想いを込めました。これまで以上にスタッフ一丸となって、より良いサービス、価値あるメニューをお客様にお届けしながら、「PRO SOL」の語源とともに末永く皆様に愛されるお店づくりをめざして。新たに生まれ変わるわたしたちに、どうぞご期待ください。

RENEWAL

8月16日。プロツソル紙屋町店
リニューアルオープン。

市内中心部に位置し、これまでも多くのお客様にご利用いただいていたプロツソル紙屋町店が装いも新たにリニューアルオープンいたします。新たな店舗では、アイラッシュの施術スペースを拡張。これまで以上にお客様がここからリラックスできる空間へと進化します。すべては、お客様にもっと心地よい時間をご提供するために。新しく生まれ変わる店舗から、新しいスタイルをご提案させていただきます。ぜひ、一度ご来店ください。

広島市中区大手町1-4-4 スキナビル2F
TEL.082-545-5662

